

はくさん 白山の大規模地すべりの活動を抑制

じんのすけだに
～ 甚之助谷地すべり対策事業～

しらみねむら
(石川県石川郡白峰村)

1. 事業の概要

甚之助谷地すべりは牛首川の最上流の標高1,600～2,400mの高度に位置する全国でも希な高山地域の地すべりです。この地すべり変動の誘因の一つとして雪解けに伴う多量の地下水供給が考えられることから、地すべりブロック内の地下水を排除する工法による地すべり対策事業を進めています。

現在でも年間15cm程度の移動量が観測されていることから、左岸小規模ブロックにおいて集水井及び集水ボーリング工を実施することにより、下流の白峰村などを土砂災害から守ります。

2. 事業の経緯

昭和37年の事業着手後、昭和47年に事業を概成しましたが、その後、昭和50年頃より再活動がみられ昭和56年より事業を再開しています。

3. 平成17年度の要求内容

左岸小規模ブロックの地すべり活動の抑制のため、大口径集水ボーリングを実施します。

